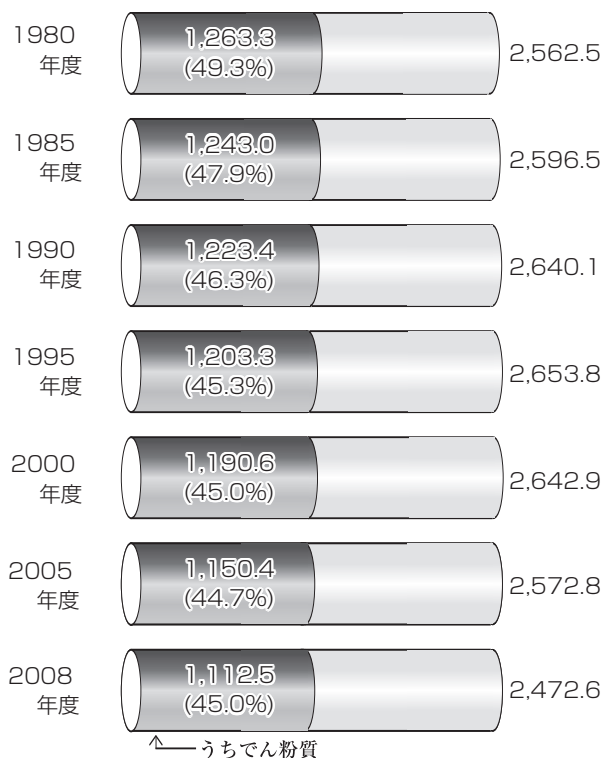


栄養供給量

1人1日当たり供給熱量 (kcal)



供給熱量は減少へ

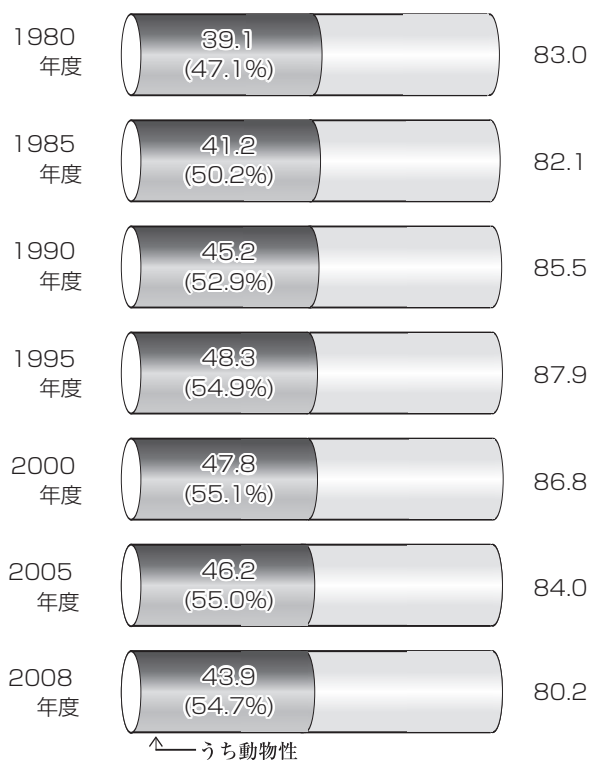
2008年度の国民1人1日当たりの供給熱量は、対前年度比3.1%減（78kcal減）の2,473kcalとなった。

2008年度における摂取熱量に占めるたんぱく質、脂質、糖質（炭水化物）の割合（いわゆるPFC比率）は、前年度に比べてたん白質の割合が増加し脂質も増加した。

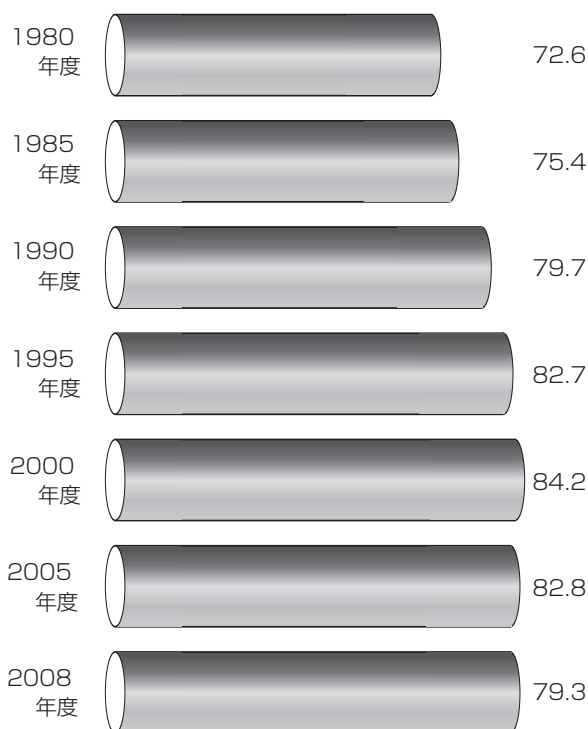
また、2008年度の供給たんぱく質は、同2.6%減（2.1g減）の80.2gとなった。うち、動物性たんぱく質は、2.0%減（0.9g減）の43.9g、植物性たんぱく質は、3.4%減（1.3g減）の36.2gである。

2008年度の供給脂質は、同3.0%減（2.4g減）の79.3gとなった。油脂類をみると、植物性油脂が2.7%減（1.0g減）の35.6g、動物性油脂が15.3%減（0.4g減）の2.3gとなり、油脂類計では38.0gとなり3.5%（1.3g）減少した。

1人1日当たり供給たんぱく質 (g)



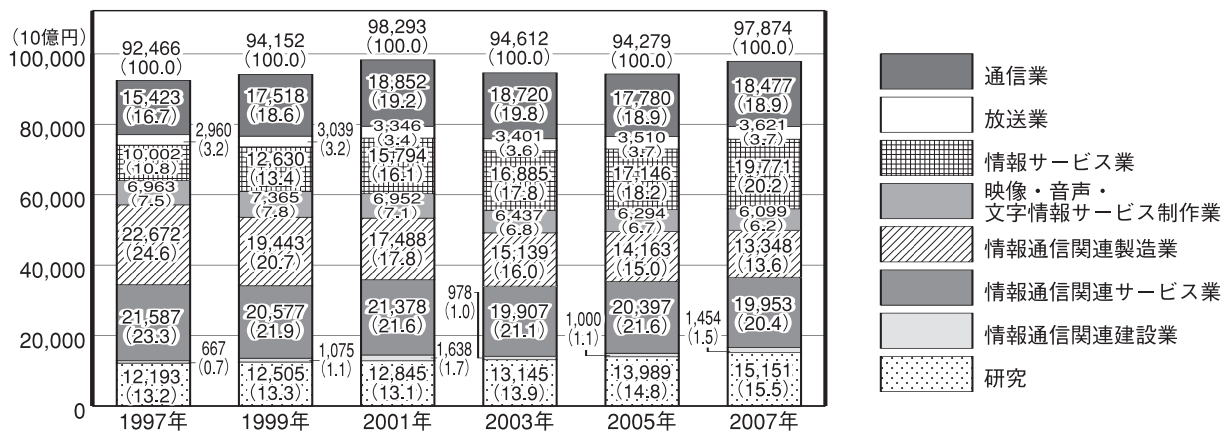
1人1日当たり供給脂質 (g)



資料：農林水産省「食料需給表」

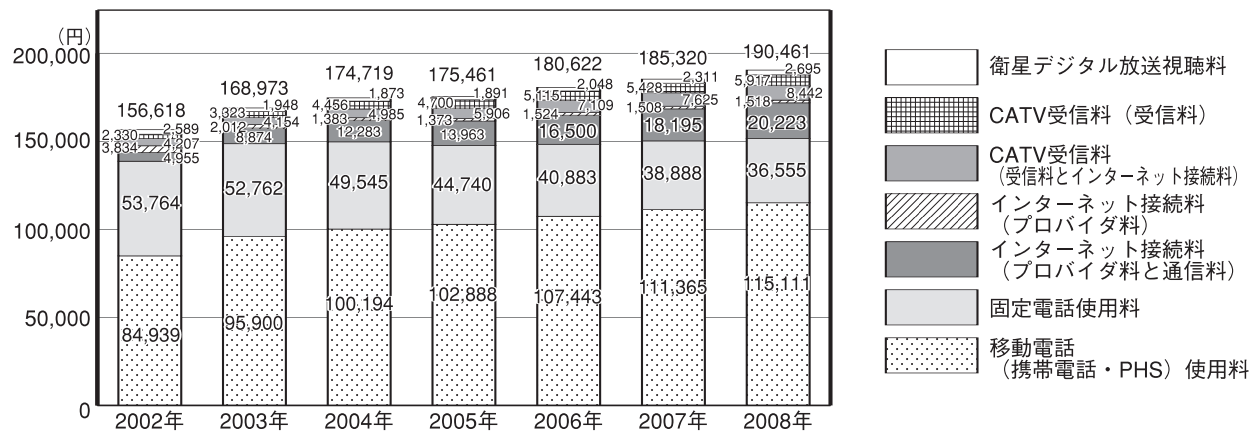
情報通信関連資料

日本の情報通信産業の国内生産額の推移



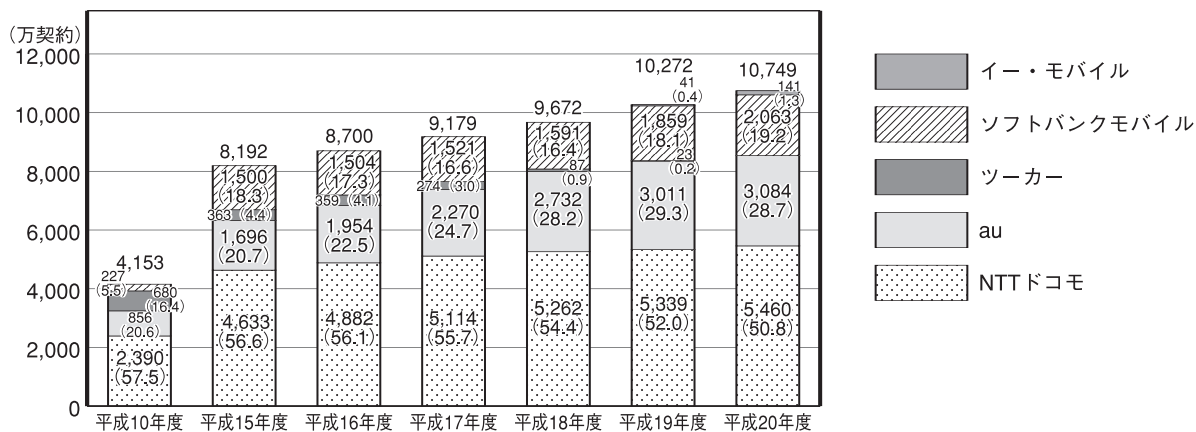
資料：総務省「平成21年版 情報通信白書」
注：（ ）内は構成比。

1世帯当たり1年間の情報通信関係費の推移 (2人以上の世帯)



資料：総務省 統計局「家計消費状況調査」
注：2002年、2003年の「衛星デジタル放送視聴料」は「衛星デジタル放送受信料」

携帯電話のシェア

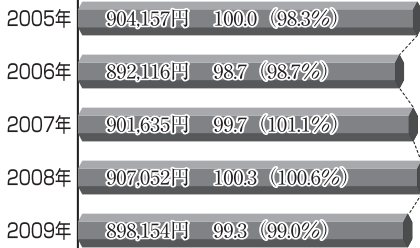


資料：電気通信事業者協会「テレコムデータブック」
注：（ ）内はシェア率

1世帯当たり年間支出金額の5年間比較

内=支出金額 (円)
2005年=100の増減指数
()内=対前年比 (%)

食料費



米



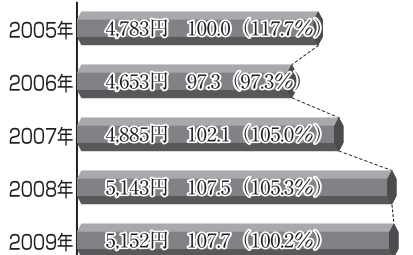
パン



めん類



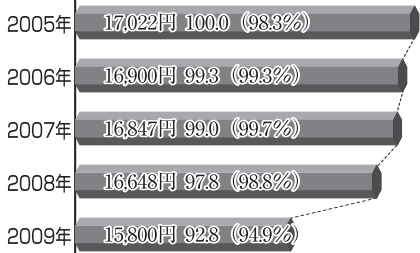
他の穀類



生鮮魚介



塩干魚介



魚肉練製品



他の魚介加工品



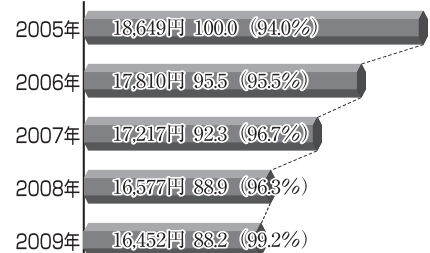
生鮮肉



加工肉



牛乳



乳製品



卵



生鮮野菜



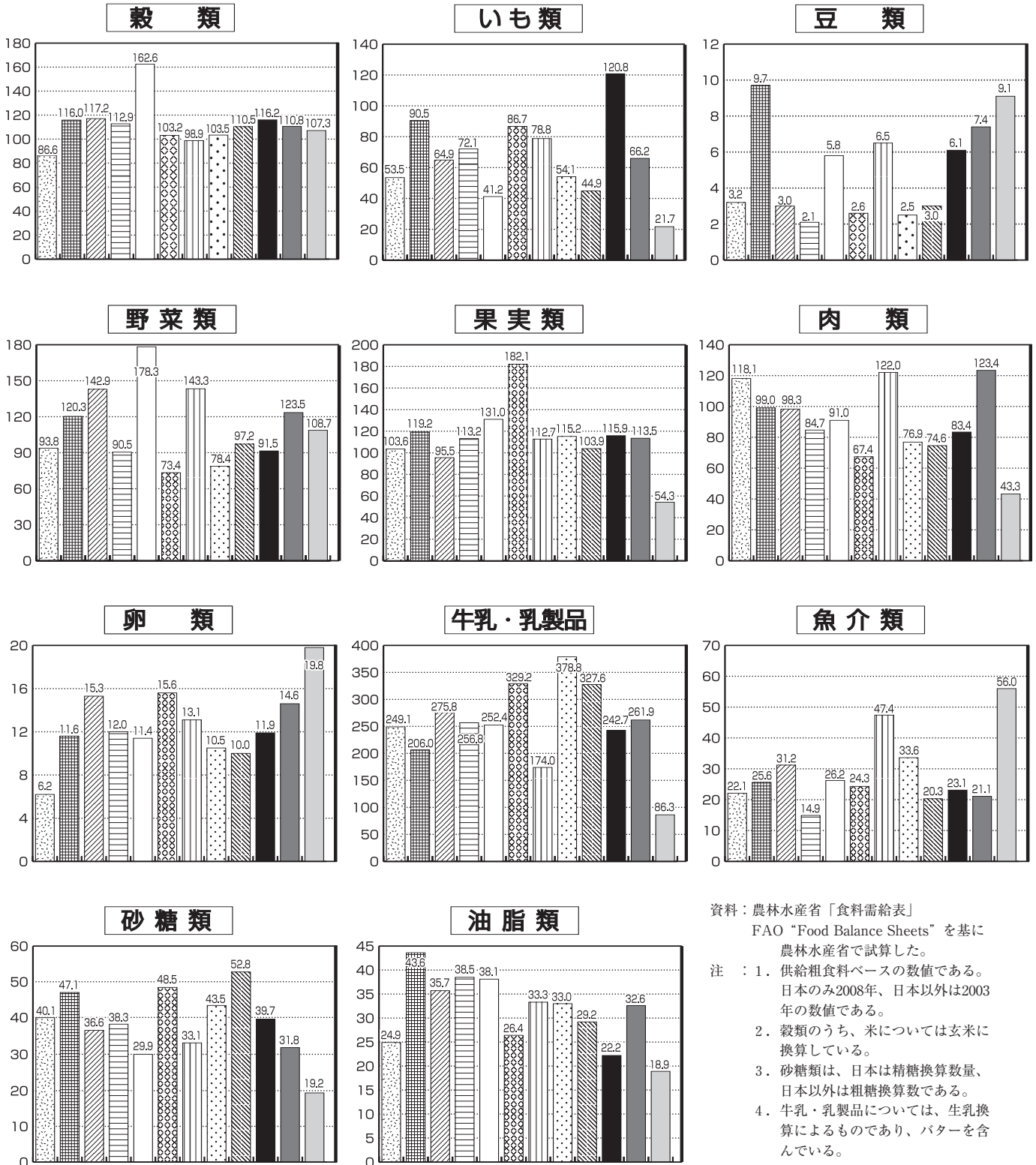
各国の食料自給率比較

国民1人・1年当たりの供給食料 (単位: Kg)

オーストラリア
 カナダ
 フランス
 ドイツ

イタリア
 オランダ
 スペイン
 スウェーデン

スイス
 イギリス
 アメリカ
 日本



資料：農林水産省「食料需給表」

FAO "Food Balance Sheets" を基に
農林水産省で試算した。

- 注：1. 供給粗食料ベースの数値である。
日本のみ2008年、日本以外は2003年の数値である。
2. 穀類のうち、米については玄米に換算している。
3. 砂糖類は、日本は精糖換算数量、日本以外は粗糖換算数である。
4. 牛乳・乳製品については、生乳換算によるものであり、バターを含んでいる。